

1 自治体名	2 関係部署名	
西宮市	政策推進課	
1 行政課題の分野	2 支援施策の分類	3 対象とする世代
北部地域の持続可能性向上	その他の支援施策	若年層および子育て世代
4 事業者の協力を求める内容	5 困りごとの解決・解消に向けた対応期間	
解決に向けたアイデアの提供	中長期的に対応していきたい	
6 解決・解消に要する費用に対する考え方	7 補足資料の有無	
費用回収の仕組み、収益化で対応	なし	

1 「困りごと」と事業者に期待する内容(要約)

本市では、人口減少・少子高齢化の進展による様々な課題を抱えています。
地域の持続可能性向上には、北部地域の魅力を活かしつつ、定住・関係・交流人口の拡充や地域主体の活動が重要であり、共に取り組める提案を期待します。

2 現状の行政課題

○北部地域といっても地域性により抱える地域課題は異なる。
○ある地域では、都市部に近い里山風景や自然環境を持ちながら、縮退が著しく将来的な地域の維持が難しくなるおそれがある。
○別の地域では、低層でゆとりある住環境でありながら、オールドニュータウン化により空き家が増加しつつある。
○この他にも、行政がそもそも地域課題を認識できていない地域もあると思われる。
○地域課題の掘り起こしから解決まで、北部地域について行政が持つ課題は幅広い。

3 行政課題に対する施策(事業)展開による対応状況と困っていること(課題)

○本市では北部地域において移住支援金などの施策を展開してきたが、思うような効果は出ていない。
○地域の持続可能性を向上させる取り組みは、地域主体(ボトムアップ)の活動でないと長続きせず、行政主体(トップダウン)で事業展開しても長続きしない。
○しかしながら、住民の機運を醸成させることは、行政の苦手とする分野である。
○要望行政から脱却するためにも、第三者的な立場からのアプローチを求めている。

4 企業・団体に「困りごと」解決に向けて連携や協力を求める内容

○事業者の収益を前提とした行政課題解決につながる事業によって、地域を巻き込む。
○地域における取組みを他の地域に波及させる好循環を生み出す、シティプロモーションにつなげる。
○行政コストを抑制しつつ、「伴走支援」「調整」といった本来行政が得意とする領域にリソースを集中させ、事業者の展開する事業により地域における福祉の増進を図る。
○事業に若者・Z世代を巻き込めれば、それらの人々は関係人口となり、やがて地域の持続可能性向上につながる。